

骨子案（中間整理目次案）

1. カーボンニュートラル（CN）に向けた経済構造変化
 - （1）CNを巡る動向
 - ① 金融の動き
 - ② 産業の動き
 - ③ 政府の動き
 - （2）企業を取り巻くガバナンス構造の変化
 - （3）CO₂の位置づけの変化
 - （4）カーボンプライシングへの注目度の高まり
2. カーボンプライシングの現状認識
 - （1）カーボンプライシングの全体像
 - （2）日本におけるカーボンプライシングの水準、エネルギーコスト
3. 成長に資するカーボンプライシング
 - （1）基本的な考え方・検討の視座
 - ① ポリシーミックス
 - ② 代替手段と時間軸
 - ③ 行動変容を進めるための「シグナル」
 - ④ LCA、カーボンフットプリント、消費市場
 - （2）カーボンプライシングの各論
 - ① 炭素税
 - ② 排出量取引
 - ③ クレジット取引
 - ④ 国境調整措置
4. 具体的な対応の方向性
 - （1）既存の国内クレジット取引市場の活性化
 - ① 非化石価値取引市場
 - ② J-クレジット制度
 - ③ JCM
 - （2）中長期に亘り行動変容をもたらすための枠組みの検討
 - ① 炭素削減価値が市場で評価される枠組みの構築
 - ② 炭素国境調整措置への戦略的対応
 - ③ CN社会を実現する上でのあるべきCP制度全体についての継続的な検討
 - （3）成長に資するカーボンプライシングが機能するための基盤の整備
 - ① IT技術等も活用したカーボンフットプリントの基盤整備
 - ② CN社会を目指す上でのクレジットの位置づけの明確化